

「大分県新エネルギービジョン改定素案」に対する県民意見の募集の結果について

令和7年2月7日

大分県商工観光労働部新産業振興室

令和7年1月6日から令和7年2月5日までの間、県民の皆様から募集した「大分県新エネルギービジョン改定素案」についてのご意見の概要、ご意見に対する県の考え方及び計画への反映状況を取りまとめましたので公表します。

なお、1人から延べ3件の貴重なご意見をいただきました。ご協力ありがとうございました。

番号	ご意見の概要	県の考え方及び反映状況
1	2030で描く大分県の概要、方向を概略把握しました。脱炭素に関する知識が増幅しました。「環境先進県おおいた」の行動として、個人的に整理をして地域普及を進めてゆきます。	県としましても、「環境先進県おおいた」を目指し、各種施策に取り組んでまいりますので、ご協力をお願いいたします。
2	エコエネルギーの定義について 総称を「エコエネルギー」とするのは、大分県独自の定義にすることには、独自性の観点から妥協するにしても、「エコ」（この言葉の歴史）の名称については、変えたほうがベターと思う。また一般的に「再生可能エネルギー」と定義されている太陽光、風力などが、「新エネルギー」と定義されているが、社会一般的の定義と同様にしたほうが違和感がないのでは。大分県の定義には、意図・科学的理由があるとすれば、補足説明が必要と思います。	「大分県新エネルギービジョン」は平成15年3月制定の、「大分県エコエネルギー導入促進条例」に規定する基本計画となっています。同条例の中で、エコエネルギーについて定義していますので引き続きエコエネルギーという名称を使用したいと考えます。 また、太陽光や風力については、ご指摘のとおり広義では再生可能エネルギーとされますが、より細かな分類として新エネルギーに分類されています。これは、新エネルギー利用等の促進に関する特別措置法施行令の規定に基くものであるため、定義については現行のままとしたいと考えます。

3	<p>私が知りたいことは、4つの取り組みのうち、IとIIIの内容です。現状と現状で計画されている内容を示すことを要望します。</p> <p><例></p> <ul style="list-style-type: none">・太陽光発電の建物系と土地系のそれぞれ代表設備の現状と現状での計画・風力発電の同上：現状は、コスモ×5基が東の山で稼働していますが、関西電力の計画およびその他の計画を知りたい。・グリーンコンビナート計画の事業計画など、県民がイメージを持てる内容で、できるだけ5w1Hの内容で計画内記載を希望。	<p>本ビジョンは、本県の地域特性に即した総合的かつ長期的な目標及び施策に関する基本的事項を定めるものであるため、ご要望のありました内容については、資源エネルギー庁のHP「事業計画認定情報 公表用ウェブサイト」に掲載されていますので、ご参照ください。</p> <p>なお、比較的規模が大きい環境アセスメントを要する導入計画につきましては、その概要を大分県のHP「環境アセスメント（実施事業一覧）」にも掲載しています。</p> <p>また、「グリーン・コンビナートおおいた」等エコエネルギーの導入や水素サプライチェーンの構築等に関する取組に関しましては、県庁HPやプレスリリースによりできるだけわかりやすく県民の皆様にもお知らせいたします。</p>
---	--	---